

学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」



学校だより

えのき

2月号



皆野町立皆野小学校 令和4年1月28日 発行

「心を鬼にする」ということ ～ 相手のために思って ～

校長 坂本 勉

来週から2月、春の到来が待ち遠しいこの頃です。しかし、新型コロナウイルス感染拡大による「まん延防止等重点措置」が適用され、これまで以上の緊張感をもって教育活動に臨みたいと思います。

2月4日は「立春」です。暦の上では、春ということになります。前日の2月3日は「季節を分ける」という意味で「節分」です。この節分の日に、豆まきをされるご家庭も多いのではないのでしょうか。

もともとは、季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると意味で、鬼をはらうために豆まきが始まり、「豆（穀物）には生命力と魔除けの力が備わっていて、鬼に豆をぶつけて邪気を追い払い、1年の無病息災を願う」のだそうです。季節の変わり目には、体調がすぐれないという事もあるので、こうした行事が行われてきたのかもしれませんが、「福はうち、鬼は外」が一般的ですが、「福はうち、鬼はうち」とする地方もあると聞きました。鬼を祭っているからだそうです。よい鬼の話も実は、民話のなかにはたくさんあります。

ところで、以前、テレビを観ていたら、「心を鬼にする」という話をしていました。ある体操クラブの話でしたが、子どもたちの才能を開花させるには、「心を鬼にして」指導するというのです。「誉めて育てる」、「子どもの気持ちにそって話を聞く」等、どちらかというところ「心を鬼にして」厳しく接することは少なくなったように感じます。クラブのコーチの厳しい指導に涙を流す子もいましたが、**技ができたときの達成感を「厳しいけど、とてもうれしい」と表現していました。**

「心を鬼にする」とは「他人に対して、可哀想だと思いながらも相手のために思い、厳しい態度をとる」という意味です。1つ注意してほしいことは、「可哀想だと思いながらも」という部分です。平気で辛く当たっているのではなく、「相手のために思って」心を痛めながら厳しくしている様子です。そうでなければ「心を鬼にする」ではなく、単なる「鬼」です。

今年度もあと2か月となりました。義務教育の9年間のうち、6年間の小学校での育ちは大変重要です。ですから、**学校では毅然とした態度で指導しなければならないことが多々あります。**その子にあった方法で「誉めて励まし」「話をよく聞いて」たまには「心を鬼にして」指導を行ってまいります。これまでの児童一人ひとりの育ちを振り返り、あと2か月でベストな状態で進学・進級できるよう、教職員一同がんばります。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。





◆主な行事予定◆

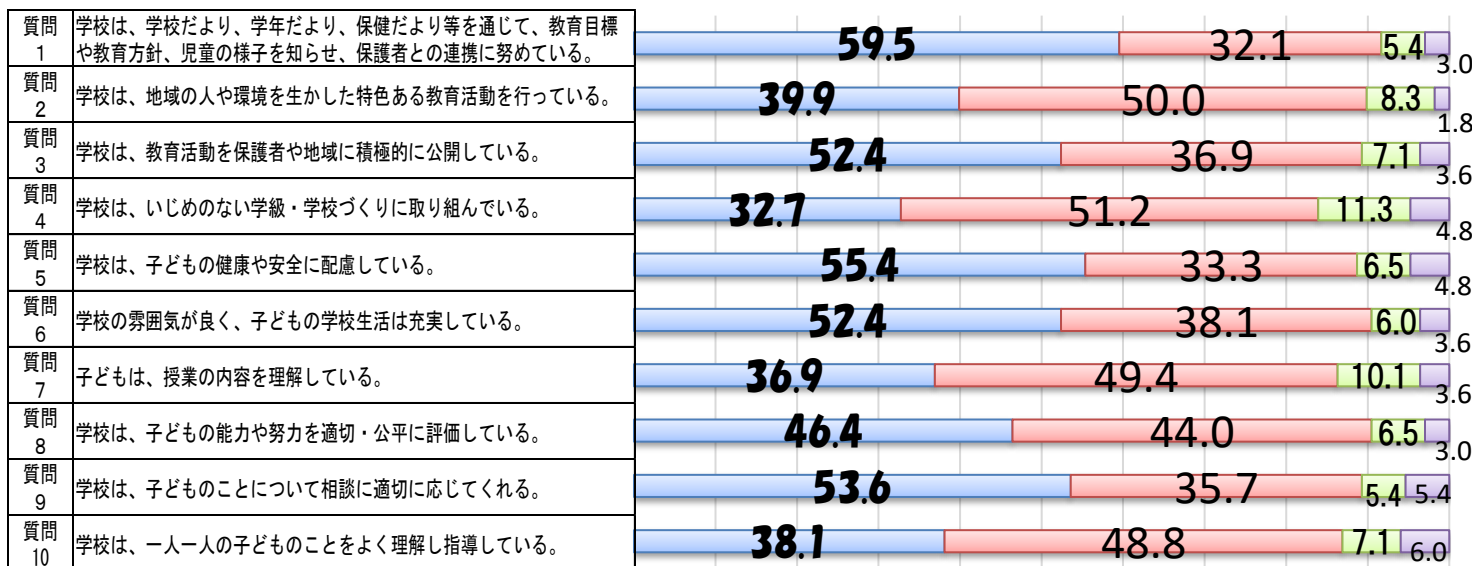
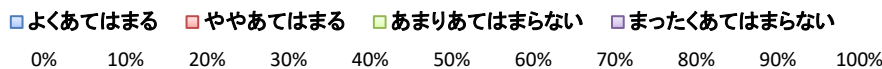


日	曜	行事等
1	火	登校指導 朝学習(算) クラブ(4,5,6年)
2	水	読み聞かせ(全) 衛生検査
3	木	朝学習(算)
4	金	朝学習(算)
5	土	
6	日	
7	月	朝学習(国)
8	火	朝学習(算) クラブ見学(3年生以上が6時間授業)
9	水	朝読書 衛生検査 ※職員ノ残業デー
10	木	朝学習(算) 校内なわとび大会期間 終了
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	朝学習(国) MPT

日	曜	行事等
15	火	校長講話 クラブ見学(3年生以上が6時間授業)
16	水	朝読書 衛生検査
17	木	朝学習(算)
18	金	朝学習(算)
19	土	
20	日	
21	月	朝学習(国) MPT
22	火	朝学習(算) クラブなし5時間 一斉下校 14:35
23	水	天皇誕生日
24	木	朝学習(算) 6年生中学体験授業(9:30-10:50)
25	金	朝学習(算) 6年生を送る会 学校運営協議会 ※PTA 新役員会
26	土	
27	日	
28	月	朝学習(国) MPT 1年下校付添(民生委員さん)

～ 令和3年度「学校アンケート」集計結果 ～

約71%のご家庭よりご回答をいただきました。
ご協力ありがとうございました。



<一番高い評価をいただいたもの>

○学校は、学校だより、学年だより、保健だより等を通じて、教育目標や教育方針、児童の様子を知らせ、保護者との連携に努めている。 【3.5点/4.0】

コロナ禍により今年度も保護者の方に来校していただく機会が限られてしまっているため、おたよりやHP、メール等で学校の様子をお伝えしたり、情報をお知らせしたりして保護者の皆さんと連携して教育を進められるよう努めました。その姿を多くの方に肯定的に評価していただき、ありがとうございます。

<さらに学校として今後も力を入れていきたいもの>

○学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。 【3.1点/4.0】

○学校は、一人一人の子どものことをよく理解し指導している。 【3.2点/4.0】

いじめが起らないよう、子どもたちの人間関係づくりを大切にする学級(学校)経営を大切にしていまいます。今後も、お子さんのことで心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。

児童理解・教育相談をより一層深め、お子さんの様子等を学校全体で情報共有し、組織的な対応を大切にしていきます。また、質の高い教育が行えるよう教職員の指導力をさらに高めてまいります。

子供たちや教職員への心あたたまるたくさんのメッセージや貴重なご意見をどうもありがとうございました。

個々のご意見について、校内の関係部会で協議させていただき、今後の学校づくりにいかしてまいります。